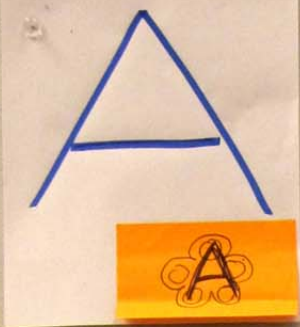


解



# 自閉症にやさしい社会

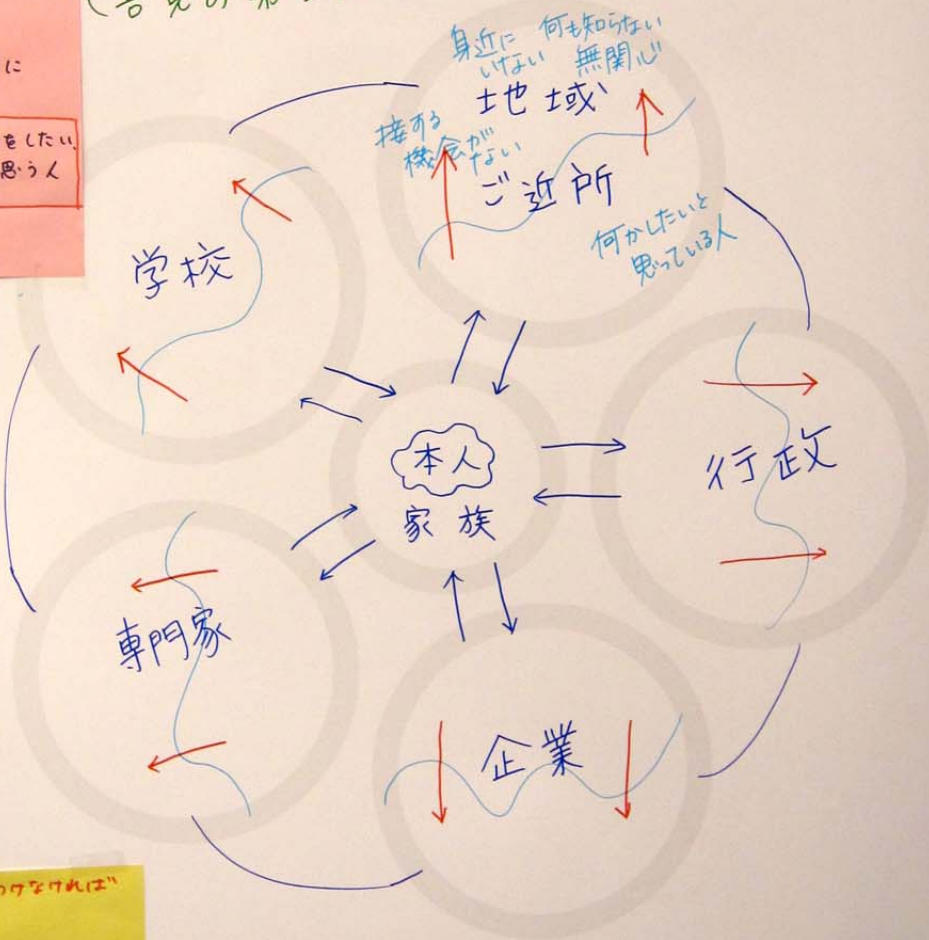
= 「何かをやって」……

何もしたらいいかわからない社会  
(善意の第三者)

なぜ重要か？

- 自閉症は見えにくい。
- 家族からすると、なかなか周りに理解されにくい。

自閉症に接する機会がない、よく知らない人 → 何をしたいと思う人



話し合いにおいて、気をつけなければいけないこと。

本当に本人のためを考えて対処しているか  
話し合い  
↓  
発信

他にも社会には大きな問題がある、というのを忘れないこと

どのような話し合いが必要？

- 家族や本人が抱える問題をしっかりと知る、話し合うことがまず、何より重要。
- 自閉症について、どのような知識が社会に浸透する必要があるかを考える。
- 自閉症についての専門的知識をふりまいた上で、ただし、知識には不確定性がある。
- 「何をしたらいいか」は自分で決める。

どのような人々？

- 多様な人々(本人、本人の代弁者、家族、地域、近所、学校、専門家、企業、行政)の間で。
- みんな、いろいろな立場で「自閉症」と関わり合いをもつ可能性がある。